

高松市立檀紙小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら考え実行し、たくましく生きる児童の育成

【本校の課題】

- 男女とも、全学年で握力の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 男女とも、全学年でソフトボール投げの値が低い。
- 学校全体として体力・運動能力が低い。
- 5年生男女とも、1週間の総運動時間が全国平均を下回っている。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られるが、昼休みなどは給食の片づけ委員会等があり、運動場で十分な時間遊ぶことができていない児童もいる。また、家庭でも外で遊ぶ場所や時間がない児童が多く、運動の経験が乏しい児童がいる。

体育の授業においては、近年若い教員が多くなり体育の授業技術の低下が課題に挙げられる。

【取組み】

投力を高める運動

昼休みを利用して、スポーツセーフティ委員会が投力を高める遊びを考え全校生に広めようと計画している。遊びの中で楽しみながらボールを投げる機会を設け、家庭での遊びにつなげたい。

体育実技研の実施

毎年夏休みに現職教育で体育部を中心に、体育実技研修会を行っている。研究教科が体育以外の教員も単元の流れや動きなどを実技を交えて研修している。



多様な運動の機会を設定する

9月から11月に各学年の発達段階に合わせた種目（ブリッジ・背支持倒立・一輪車等）を設定し、体力づくりとして練習に取り組んでいる。練習した技は、次年度の運動会の表現の中で全校生や保護者に発表する。



月に1回ロング昼休み

児童の遊ぶ時間を確保するために、月に1回ロング昼休み（60分）を設定している。時間と機会の確保を目的としている。各クラスや委員会などが全校生で取り組める遊びの計画を立てている。

【目標】

- 運動が好きと答える女子児童の割合を、H29年度までに80%にする。
- 現職教育で体育実技研修会を毎年行い、指導力の向上を図る。
- 運動場で元気に遊ぶことで、自分を発揮するたくましい児童を育成する。